

## 市長・副市長と教育委員の意見交換会

日時：平成 25 年 5 月 27 日（月）午後 3 時 20 分から 5 時 15 分まで

場所：特別会議室

出席：山下市長、小紫副市長、中井教育委員長、村田委員、平本委員、早川教育長、  
峯島教育総務部長、川口生涯学習部長

### ○教育委員会の活性化について

市長：全国的に教育委員会の形骸化の声がある。生駒市では定例会とは別に臨時会を開くなど活性化に努めているが、委員からの意見、要望を聞きたい。

教育委員の主な意見：

- ・教育委員会は、現在、会議だけではなく、研修会や学校現場に行くなど、機会をとらえて連携を図っている。
- ・教育委員会が追認機関ではいけない。そのために研鑽が必要である。
- ・予算など政策が決まる前段階で事務局と計画を組み立てていきたい。
- ・活性化策として、非公開の事前会議をなくしたこと、委員の学校訪問を始めたことなどがある。今後、生徒指導部会や教務主任等との懇談を行いたいと考えている。

### ○小中一貫校について

市長：構想は良い案であるとの自負があるが、提案の仕方が拙速であったという意見をもらった。反省している。地域、保護者、教員と情報の格差があり、理解してもらわなければならない。変革にはコンセンサスを得る時間が必要だったと感じている。

教育委員の主な意見：

- ・良い学校ができると思う。高山にしかできない地域性を生かしてほしい。幼保一元化については、こども園になるのであれば、高山幼稚園の良さを引き継いでくれることを望んでいるという声を聞いている。幼稚園行事では、例えば食育の面では畑などを地域が用意してくれているので、今後も園と地域の交流をしっかりと続けてほしい。
- ・新しい施策は、大人の気力、意気込みが大切である。教師の力量を高めることと、地域の力添えも必要で、それがなければ難しい。
- ・他地域からも通いたくなるような学校にしたい。実験校ではいけない。生駒北小中一貫校の成果を受けて他地域に広がるようにしてほしい。
- ・北校区は、児童生徒数が減少している。小規模校であっても、社会人として、また国際人として活躍できるような人材に育てることが課題であると思う。

## ○サンヨースポーツセンターについて

市長：市が購入する方向で検討している。獅子ヶ丘の避難所であるし、小・中・高校生も喜ぶと思う。ただ、財源確保が課題である。懇話会を開いて検討したい。中学校は大会で奈良市の鴻ノ池陸上競技場まで行っている。陸上の400mトラックもとれるし、サッカー場としても利用できる。

教育委員の主な意見：

- ・国際的に活躍する生駒の選手がいる、子ども達が見たら、きっと喜ぶと思う。
- ・収入にはならないが、長い目で見て、運動を通じて医療費削減につながればいい。
- ・事務局では、教育委員がサンヨースポーツセンター、生駒北小・中学校、高山幼稚園を回り、学校長、園長と懇談する機会を設ける予定をしている。

## ○教育委員から市長への要望、意見

教育委員の主な意見：

- ・南こども園が創設されることは喜ばしい。施設老朽化の課題も解決できる。
- ・こども園になると人数が増えることに懸念がある。

市長：規模の心配はわかるが、生駒台幼稚園も300人規模の園である。今後、幼稚園の園児数は減り、保育園が増えるトレンドだ。保育園シフトになるし、駅近にシフトされるだろう。現在の規模がそのまま続くとは考えていない。

主な意見：

- ・奈良市から生駒の公立幼稚園はすばらしいと言われている。
- ・学校教育がいいので生駒市に転入したという人が多い。生駒で生活して良かったと思ってもらえたらうれしい。生駒の歴史や伝承なども市民に伝えてほしい。

市長：郷土資料館の指定管理受託予定者や懇話会委員と教育委員が話す機会をつくればどうか。郷土資料館のコンセプトとして、リピーターを増やすことが大事と思う。飽きられないように趣向を変えることが必要だし、小中学校とも連携してほしいと思う。セミナー室があるので利用してほしい。

主な意見：

- ・スポーツ、音楽で優秀な子がいる。「小さな親切」運動の作品も生駒の子どもの出展が多い。生駒の子どもは素直な子が多いと思う。家庭の基盤がしっかりしており落ち着いていると感じる。

市長：子どもは勉強だけではいけない。人間性を高める教育が必要である。小中一貫校も学力向上の取組として専科教員が教えるだけでなく、人間性を育むようなことを打ち出してほしい。私立の進学校のようにはいけない。先ほどの生徒指導部

会等との懇談について、視点を提示して実施してほしい。